



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社  
 コード番号 6629 URL <http://www.technohorizon.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 拓伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 水上 康

TEL 052-823-8551

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,176	7.2	44		54		99	
2019年3月期第1四半期	3,896	4.3	48	36.9	46	24.0	0	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 59百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 108百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.38	
2019年3月期第1四半期	0.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,898	6,091	30.6
2019年3月期	18,634	6,221	33.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,091百万円 2019年3月期 6,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	9.6	1,200	5.2	1,200	8.1	900	39.3	66.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	21,063,240 株	2019年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	7,585,945 株	2019年3月期	7,585,945 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	13,477,295 株	2019年3月期1Q	13,477,335 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、IT化が一層進む「教育」市場、中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA」市場、高度化が求められる「医療」市場、セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進化する「安全・生活」市場の4つの市場を重点市場と定め、活動を強化しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,176百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業損失44百万円（前年同四半期は営業利益48百万円）、経常損失54百万円（前年同四半期は経常利益46百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は99百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## ① 光学事業

光学事業においては、主要ビジネスである書画カメラ事業が、前期並水準で推移しました。また、業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）は、事業者の安全意識が高まる中、クラウドで運行データを保管できることが支持されて堅調に推移しました。

これらの結果、光学事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,707百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業損失は109百万円（前年同四半期は営業損失60百万円）となりました。

## ② 電子事業

電子事業においては、主力事業であるFA関連機器が、国内景況感の回復を受け、国内機械メーカーからの受注を順調に伸ばしました。FA中国現地法人は、米中貿易戦争による先行きの不透明感があるものの、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、安定して推移しました。一方、利益面ではM&A費用等が増加しました。

これらの結果、電子事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1,469百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業利益は50百万円（前年同四半期比42.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,082百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が605百万円、商品及び製品が356百万円、仕掛品が652百万円、原材料及び貯蔵品が437百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,009百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が144百万円、無形固定資産が39百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,264百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,476百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が408百万円、短期借入金が1,109百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が130百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,394百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が169百万円減少した一方、為替換算調整勘定が37百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は30.6%（前連結会計年度末は33.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,068,294	2,673,692
受取手形及び売掛金	4,763,547	3,754,202
電子記録債権	987,122	1,001,052
商品及び製品	1,363,778	1,719,928
仕掛品	590,430	1,242,820
原材料及び貯蔵品	1,710,926	2,148,651
その他	751,198	775,809
貸倒引当金	△30,254	△28,774
流動資産合計	12,205,044	13,287,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,065,691	1,090,282
土地	2,520,194	2,550,872
その他(純額)	517,101	606,093
有形固定資産合計	4,102,987	4,247,248
無形固定資産		
のれん	882,545	938,026
その他	444,345	428,626
無形固定資産合計	1,326,891	1,366,653
投資その他の資産		
その他	1,091,790	1,089,933
貸倒引当金	△92,651	△92,651
投資その他の資産合計	999,139	997,282
固定資産合計	6,429,018	6,611,183
資産合計	18,634,063	19,898,566
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746,527	3,154,942
短期借入金	6,253,013	7,362,460
未払法人税等	171,910	65,147
賞与引当金	250,888	160,178
その他	955,693	1,111,804
流動負債合計	10,378,033	11,854,533
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	1,302,362	1,172,305
退職給付に係る負債	428,734	464,640
その他	303,552	266,058
固定負債合計	2,034,649	1,953,004
負債合計	12,412,682	13,807,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,486,269
利益剰余金	1,749,124	1,579,128
自己株式	△1,917,312	△1,917,312
株主資本合計	5,818,081	5,648,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,541	7,210
為替換算調整勘定	385,822	423,195
退職給付に係る調整累計額	10,935	12,537
その他の包括利益累計額合計	403,299	442,943
純資産合計	6,221,381	6,091,028
負債純資産合計	18,634,063	19,898,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,896,215	4,176,908
売上原価	2,886,417	2,982,052
売上総利益	1,009,798	1,194,855
販売費及び一般管理費	961,288	1,238,958
営業利益又は営業損失(△)	48,510	△44,102
営業外収益		
受取利息	1,240	818
受取配当金	588	517
為替差益	7,146	—
持分法による投資利益	—	9,607
不動産賃貸料	4,284	4,160
その他	2,587	4,741
営業外収益合計	15,846	19,845
営業外費用		
支払利息	10,323	9,900
為替差損	—	19,218
持分法による投資損失	5,758	—
その他	1,525	1,364
営業外費用合計	17,608	30,483
経常利益又は経常損失(△)	46,749	△54,740
特別利益		
固定資産売却益	—	2,038
投資有価証券売却益	177	—
特別利益合計	177	2,038
特別損失		
固定資産売却損	340	—
固定資産除却損	—	56
特別損失合計	340	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	46,587	△52,758
法人税等	46,521	46,708
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65	△99,466
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	65	△99,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65	△99,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,607	669
為替換算調整勘定	△100,227	35,933
退職給付に係る調整額	2,166	1,601
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,888	1,439
その他の包括利益合計	△108,557	39,643
四半期包括利益	△108,491	△59,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,491	△59,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であった(株)ケーアイテクノロジーは重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社である(株)タイテックが2019年6月21日付で(株)エムディテクノスの株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、2019年6月30日をみなし取得日としたため、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

商品及び製品の評価方法については、主として先入先出法、一部の連結子会社については総平均法及び個別法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より主として移動平均法、一部の連結子会社については個別法に変更しております。

原材料の評価方法については、主として総平均法、一部の連結子会社については移動平均法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より主として移動平均法に変更しております。

仕掛品の評価方法については、主として総平均法、一部の連結子会社については個別法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より主として移動平均法、一部の連結子会社については個別法に変更しております。

これらの評価方法の変更は、基幹システムの変更を契機に、国内の連結子会社の評価方法を見直したことに伴うものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,326,972	1,569,243	3,896,215	—	3,896,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,779	189,838	242,617	△242,617	—
計	2,379,751	1,759,082	4,138,833	△242,617	3,896,215
セグメント利益又は損失 (△)	△60,475	88,068	27,592	20,917	48,510

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額20,917千円は、セグメント間取引消去115,436千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用94,519千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,707,845	1,469,062	4,176,908	—	4,176,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77,801	461,865	539,667	△539,667	—
計	2,785,647	1,930,928	4,716,575	△539,667	4,176,908
セグメント利益又は損失 (△)	△109,661	50,377	△59,283	15,181	△44,102

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額15,181千円は、セグメント間取引消去164,167千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用148,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電子事業」セグメントにおいて、前連結会計年度において非連結子会社であった㈱ケーアイテクノロジーは重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

「電子事業」セグメントにおいて、2019年6月21日付で㈱エムディテクノスの株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

これらの連結の範囲の変更により、「電子事業」セグメントにおいて、のれんが106,601千円増加しております。